

## 4-9 伊豆大島の上下変動

### Vertical movements in Izu-Oshima

国土地理院  
Geographical Survey Institute

第1図は、三原山登山路線沿いの上下変動である。1986年の割れ目火口列の延長線と交差するあたりで、依然として沈降が続いている。また、元町に対して、三原山側が隆起を続けている。

第2図は、1987年の小噴火以前から（下図）及び噴火後（上図）の積算上下変動である。小噴火により一時三原山側が沈降したが、噴火以後4 cm程度隆起した。また、上述の割れ目火口列延長での沈降は、5年間で9 cmに達している。

第3図は、岡田と油壺、布良及び南伊豆各験潮場間の月平均潮位差である。1990年頃から続いていた岡田の隆起は1992年に入って止まったようである。

第4図は、相模湾地方の精密変歪測量の一環として実施している三原山外輪山にある大島一等三角点と大島燈台間の距離の経年変化である。1986年噴火の後も距離は伸び続け、特に最近2年間は伸びが加速されたように見える。今後の推移に注目する必要がある。

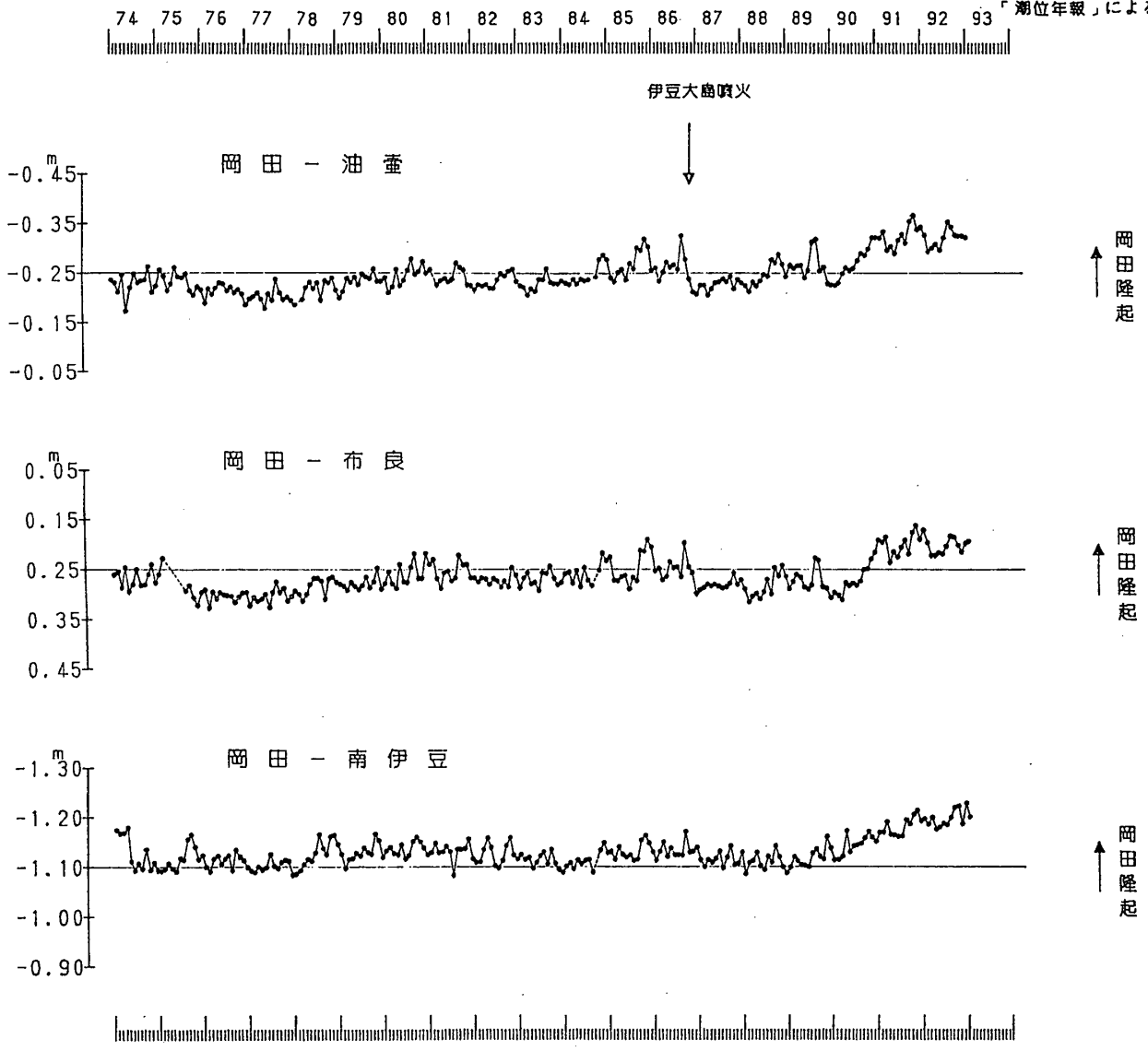
### 参 考 文 献

- 1) 国土地理院：伊豆大島の地殻変動，連絡会報，40（1988），231-236.
- 2) 国土地理院：伊豆大島の地殻変動，連絡会報，41（1989），303-308.
- 3) 国土地理院：伊豆大島地方の上下変動，連絡会報，42（1989），225-228.
- 4) 国土地理院：伊豆大島の地殻変動，連絡会報，43（1990），266-270.
- 5) 国土地理院：伊豆大島の地殻変動，連絡会報，44（1990），193-195.
- 6) 国土地理院：伊豆大島の上下変動，連絡会報，45（1991），254-257.
- 7) 国土地理院：伊豆大島及び三宅島の地殻変動，連絡会報，46（1991），220-224.
- 8) 国土地理院：伊豆大島の地殻変動，連絡会報，48（1992），258-261.
- 9) 国土地理院：関東地方の地殻変動，連絡会報，49（1993），163-168.

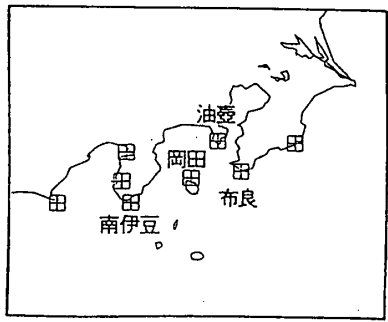




知岸昇降検知センター  
「潮位年報」による。



93年 4月の潮位データは、  
テレメータによる30日までの  
平均値を使用した。

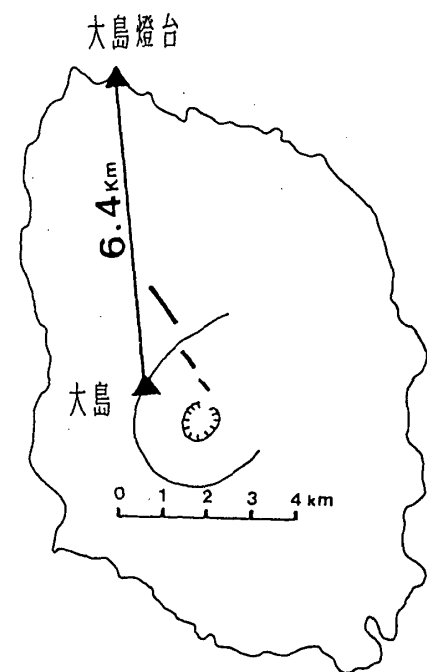
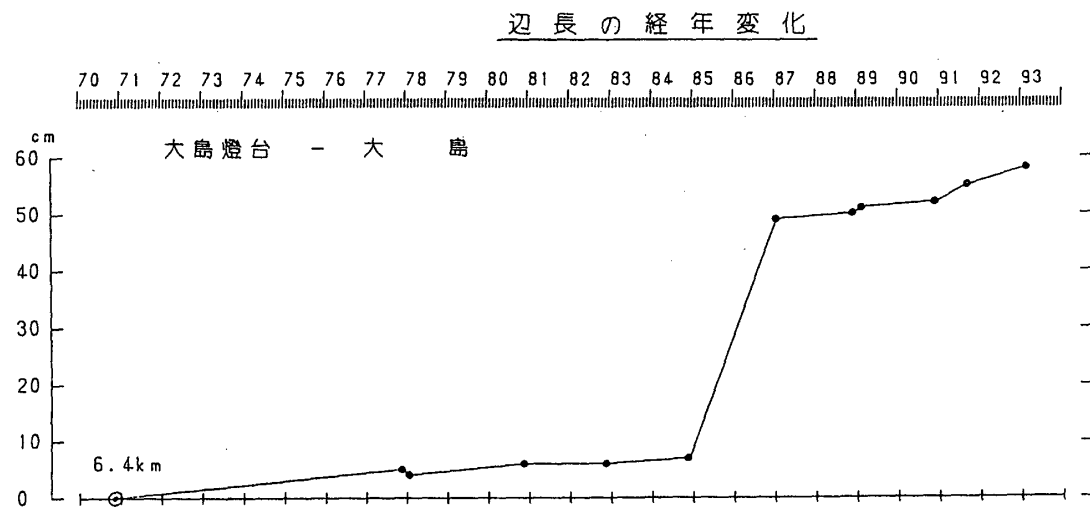


第3図 岡田と油壺，布良及び南伊豆験潮場間の月平均潮位差

Fig.3 Differences in monthly mean sea level changes between Okata and Aburatsubo, Mera and Minami-Izu tide stations.

測定年	1970	'70	'77	'78	'80	'82	'84	'87	'87	'88	'89	'89	'90	'90	'91	'93
区間	3	12	12	2	12	12	12	1	11	12	2	9	3	12	9	1
大島～大島燈台	6381. <sup>m</sup>	.90	.95	.94	.96	.96	.97	2.39	.37	.40	.41	.39	.41	.42	.45	.48

\*\* 1991, 9の観測値は参考値



第4図 大島燈台—大島間の距離の経年変化

Fig.4 Temporal variation in distance between the Oshima Light House and the Oshima control point on the caldera rim.